

高く、ニシジロモロに幅  
在コソトの但涙を区る文  
が大い1500円以上  
渉なども進めている。

でのロスもかなりある」とい  
といい、目ぞろえ会の臨  
時開催などで生産者に対  
策を周知する考えだ。

県農業技術課が発表し  
た技術対策では、水稲は  
雨で収穫機が田に入らな  
いので、刈り遅れによる

胴割れ米の発生する恐れ  
を指摘。稲が倒伏した場  
合は穂発芽の有無を確認  
し、刈り分けするよう呼  
び掛けている。果樹はリ  
ンゴや桃、梨での薬剤防  
除や、ブドウの収穫遅れ  
に注意を促す。野菜で  
は、今後も天候が回復し  
ないと病害が多発する恐  
れがあるとし、予防防除  
を求めている。

で繊維製品の需要は増え  
る一方、化学繊維は石油  
資源の枯渇で不足、高騰  
する可能性があるとして  
「日本も綿花の自給を」  
と呼び掛けた。  
パネル討論で、信州大  
学繊維学部の下坂誠学部  
長が、村などと協力する  
綿花の試験栽培を紹介。  
同村の久保田勝士村長は  
「綿花を生かせば特色あ  
る地域産業づくりにつな  
がる」と期待を込めた。  
大会では、東日本大震  
災で津波をかぶった農地



綿花を原料に使った製品をアピールする参加者

## 綿花で特産づくりを

### 長野県高山村でサミット

# 自給呼び掛け

綿花栽培や加工に関わ  
る人の情報交換とネット  
ワークづくりを目的にし  
た「全国コットンサミッ  
tin信州高山」が、長  
野県高山村で開かれた。  
愛知県蒲郡市に続き5回  
目。同村などでつくる実  
行委員会が主催し、全国  
各地の栽培、加工関係者  
ら300人以上が参加。  
綿花の国産化や特産品作

りの方策を話し合った。  
大正紡績（大阪府阪南  
市）の技術者、近藤健一  
さん（75）が基調講演し  
た。今後世界人口の増加

の塩害対策として綿花栽  
培と製品化を進める「ふ  
くしまオーガニックコッ  
トンプロジェクト」（福  
島県いわき市）など4団  
体が表彰された。次回サ  
ミットは来年、兵庫県加  
古川市で開かれる。

### 給油所接客競つ

長野・J A 佐久  
浅間管内ドラコン

【長野・佐久浅間】J A  
佐久浅間の子会社、㈱ア  
ックスは、給油所スタッ  
フのスキルアップを図  
り、サービス向上につな  
げようと佐久市の駒場給  
油所で第3回ドライブウ  
エイコンテストを開い  
た。各給油所から選ばさ  
れた10人が参加した。  
スタッフ給油の部で、  
車両の誘導や給油作業、  
点検、客とのコミュニケ  
ーション能力などの項目  
で接客力と技術力を競っ

こと、果皮のワックス発  
生を目安にすることを挙  
げた。

販売課の担当者は、  
「秋映」の引き合いが強  
い中、他産地でもまだ出  
荷量が増えない状況

を踏まえ、「食味を優先  
しながら、一気に収穫す  
るのではなく、小まめに  
収穫、出荷してほしい」  
と呼び掛けた。同J Aの  
「秋映」の出荷は10月中  
旬までで、6万3000

が参加。販売情勢や出荷  
規格を確認した。J Aの  
担当技術員は「今年は成  
熟が早いので、特に日持  
ち性を重視して、外観や  
手触り、食味などを総合  
的に判断し収穫してほし  
い」と呼び掛けた。管内



「高嶺ルビー」の赤い花が楽しめる「赤そばの里」

